

会場 A (文科系総合講義棟 2 階法学部第二講義室)

第二日目 6 月 2 日 (日)

【個人発表】 9 時 00 分—11 時 55 分

小児癌と死期の告知を巡る医師の沈黙とその社会的文脈—セネガル共和国ダカール市的小児科病棟における事例

A12 井田暁子

「副作用」をめぐる経験—現代ネパールにおける薬剤と身体

A13 中村友香

エスノ/フォトグラフィック・フィクション

A14 道信良子

切ることにより生成する関係性・自立性—メンタルヘルス関連当事者活動からの考察

A15 杉本洋

ケアの人類学における「ニーズ」概念の検討—静岡県 T 市における介護保険制度とデイサービスの提供過程を事例として

A16 杉山仁木

感染症における人間と病原菌の生の重層—日本ハンセン病医学における菌形態の解釈と応用をめぐって

A17 桜木真理子

フェティッシュの記号論

A18 中川敏

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

【分科会 8】 15 時 45 分—17 時 45 分

不確実性の人類学に向けて

趣旨説明 代表：市野澤潤平

〈不確実性の民族誌〉を読む

A19 渡邊日日

インドネシアの保険制度—「リスク社会化」における不確実性

A20 阿由葉大生

志向される不確実性—日本の女性不妊治療における患者の実践

A21 吉直佳奈子

忘れるごとと自己—不確実性の認識主体についての試論

A22 碇陽子

会場 B (文科系総合講義棟 2 階法学部第一講義室)

第二日目 6 月 2 日 (日)

【個人発表】 9 時 00 分—11 時 25 分

「大師」の誕生—チベット族の村に生き延びたプミ族ハングイの家系

B11 金龍哲

ルソン島北部コーディリエラ棚田群での教育演劇の実践

B12 日丸美彦

Roles of teachers and school culture in the JET Programme: an ethnographic study

B13 Akiko Nambu

グローバルな当事者間のニーズ共有接近法—ケニアのナロック県と日本の静岡県を繋ぐ人類学的教育実践の事例から

B14 湖中真哉

「しほり」における不確実性に対する自己の意志の表出—中国マカオにおけるカジノのバカラの事例から

B15 劉振業

自文化表象の虚実—西南中国トン族の事例から

B16 兼重努

・・・・・

【分科会 9】 15 時 45 分—17 時 45 分

グローバル化時代に月経はどう観られるのか—ケガレ・禁忌・羞恥心

趣旨説明 代表：杉田映理

コメンテーター：カルシガリラ・イアン／八木祐子／田口亜紗

政策課題となり政治化された MHM と農村部における月経観の変化—ウガンダの事例から

ら

B17 杉田映里

東アフリカにおける月経観と月経にかんする教育事情—ケニアとウガンダの事例から

B18 椎野若菜

パプアニューギニアにおける月経をめぐる言説と女性たちの実践—保健教育を受けた世代に焦点をあてて

B19 新本万里子

北インド農村における月経をめぐる観念と実践に関する一考察—就学経験との関わりから

B20 菅野美佐子

会場 C (文科系総合講義棟 2 階経済学部第一講義室)

第二日目 6月2日 (日)

【個人発表】 9時00分—11時55分

「倫理的消費」を機能させる仲介者の商実践—ガーナ北東部におけるボルガ・バスケット取りの事例から

C12 牛久晴香

「エア・ジョーダン」とスニーカー消費—正規品と「場貨 (Changhuo)」の間に

C13 賈玉龍

鬼市再考—近代天津における鬼市についての経済人類学的考察

C14 櫻井想

Silent Initiatives and Seasonal Business: A Case Study on the Ritual Merchandise Vending in Periodic Marketplaces of Northern Dali

C15 Wu Zhou Yang

トンガ王国トンガタブ島の雑貨店ビジネスにおける中国系商店の現況

C16 北原卓也

グローバル・サモア人世界の経済と儀礼—移民と本国社会の互酬性の展開

C17 山本真鳥

財の展示を通じた関係性の創出—ミクロネシア・ポンペイ島における首長制と祭宴の事例から

C18 河野正治

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

【分科会 10】 15時45分—17時45分

インビジブルとビジブルな越境をよみとく—アジア・アフリカにおけるミクロヒストリーの視点から

趣旨説明 代表：王柳蘭

コメンテーター：宮原暁

離散中国ムスリム・パンロン人のミクロヒストリーにみる越境と自己像の模索

C19 王柳蘭

ミクロヒストリーと「大きな歴史」の絡み合う場—ベトナム南部メコンデルタ多民族社会における差異の認識

C20 下條尚志

迫りくる故郷、際立つ境界—南北スーダンにおける移住者家族の帰還を巡るミクロヒストリー

C21 飛内悠子

移動が越える境界、移動がつなぐ社会関係—ウガンダの難民居住地における難民と「ホスト社会」

C22 村橋勲

会場 D (文科系総合講義棟 2 階経済学部第二講義室)

第二日目 6月2日(日)

【個人発表】 9時00分—11時55分

土地返還運動に参与しない住民たち——マーシャル諸島クリエジン環礁で行われた強制移住の事例

D12 大竹碧

在日コリアンの国境を越えた親族ネットワーク—帰国事業で「祖国」に渡った人びとと日本に暮らす人びとの繋がりと選択

D13 竹田響

韓国・済州島済州市におけるフィリピン人移住者の社会関係について

D14 永田貴聖

中国と北朝鮮の国境地帯における人びとの移動と生活実践に関する人類学的研究

D15 朴歛

韓国における朝鮮学校卒業生の生活とアイデンティティー「朝鮮舞踊」の実践を中心として

D16 宋基燦

交流の印としてのタトゥー——彫師たちの身体を媒介としたコミュニケーション

D17 山本芳美

小林保祥のパイワン族民俗絵画に見る儀礼と社会—台湾臨時旧慣調査の蕃族調査会

D18 中生勝美

【分科会 11】 15 時 45 分—17 時 45 分

祭礼における「脱暴力化」の研究

趣旨説明 代表者：阿南透

となみ夜高まつりにおける脱暴力化

D19 阿南透

神輿中心の祭礼における暴力、もめごと

D20 中里亮平

福野夜高祭(富山県南砺市)における脱暴力化—「引き合い」の変化の検討

D21 藤本武

けんか祭りの変容－富山市・岩瀬曳山車祭

D22 渡辺和之

会場 E (文科系総合講義棟 2 階法学部第一小会議室)

第二日目 6月2日(日)

【個人発表】 9時00分—11時55分

コミュニティと市民活動を支える政治不信ースロヴァキアの人々が語る政治とその距離感

E12 神原ゆうこ

情動の政治と個人の変容——イランにおける帰還民兵の事例から

E13 黒田賢治

パフォーマンスによる社会との対話ワークショップ『動物と話す方法』の開発と実践

E14 飯塚宣子

境界を揺るがすゾウータイの「ゾウの村」を事例として

E15 大石友子

チンパンジーのエスノグラフィの可能性—「ラディカルな他者性」を毀損することなく理解することは可能か？

E16 西江仁德

人類学者と企業研究所との協働をめぐって(3)－アカデミック人類学徒として関与することの可能性

E17 伊藤泰信／大戸朋子

人類学者と企業研究所との協働をめぐって(4)－企業内におけるエスノグラファーの評価

E18 大戸朋子／伊藤泰信

【分科会 12】 15 時 45 分—17 時 45 分

少子化にゆれる東アジアの父系理念

趣旨說明 代表：玉城毅

コメンテーター：川口義大／西村一之

ソーシャル・キャピタルとして家族を問い合わせる一目常の互酬と信頼構築を手がかりに

E19 長沼さやか

台湾の少子化と非婚化にみる祖先祭祀の行く末ー娘と娘しかいない人々を事例に

E20 上水流久彦

韓国の祖先祭祀はどこへ向かうか—大学生の祖先祭祀に対する意識調査を中心に

E21 中村八重

簡素化する死者儀礼と祖先祭祀－沖縄において死は隠蔽化されているのか？

E22 玉城毅

会場 F (中講義棟法学部第三講義室)

第二日目 6月2日 (日)

【個人発表】 9時00分—11時55分

周縁性の変容とジェンダー—西ネパールにおける共同体再編をめぐって

F12 藤倉康子

大相撲文化の変容

F13 上之郷奈穂

古武道関係者における「文化財」概念の流用—近現代における「文化財」の意味づけの分析
から

F14 足立賢二

伝播した祭りのゆくえ—グローカリゼーションの視点からの「よさこい系」祭り

F15 矢島妙子

移民集住地域におけるフェスティバルの重層的意義—豊田市 H 地域の事例を通して

F16 渋谷努

日本におけるセクシュアルマイノリティによる生殖医療の利用—レズビアン女性とゲイ男性はいかにして出会うのか

F17 新ヶ江章友

日本における月経の呼称使用に関する一考察—インターネットによるアンケート調査をもとに

F18 林春伽

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

【分科会 13】 15時45分—17時45分

「布施」とはなにか—南アジア・東南アジア社会における贈与の倫理・制度

趣旨説明 代表：濱谷真理子／藏本龍介

コメンテーター：岸上伸啓／内山田康

布施が生み出す差異とつながり—北インド巡礼地郊外の施食会を事例として

F19 濱谷真理子

布施が織りなす関係性—ヒンドゥー寺院司祭と信者間の贈与をめぐって

F20 飯塚真弓

「すべてを与えると、すべてが手に入る」—ミャンマー「自然法」瞑想センターを事例として

F21 藏本龍介

ダーナの「悦び」のつくられたースリランカにおける社会奉仕実践と布施の現場から

F22 中村沙絵

会場 G (中講義棟文学部第一講義室)

第二日目 6月2日 (日)

【個人発表】 9時00分—11時55分

ラオス北部の山岳少数民族における村落レベルの動物を要する防災儀礼の態様と変化—コクナン村を事例とした防災儀礼の農耕儀礼化・祖先祭祀化の可能性

G12 宮平盛晃

タイ北部のミエン族が暮らす山村における陸稻栽培技術の変化

G13 増野高司

タイ北部、ミエンの歌謡語彙の特徴

G14 吉野晃

嵐を警告するキリストーフィリピン・レイテ島における災害フォーク・カトリシズムの発生と展開

G15 西田昌之

ベトナムのモンの儀礼における生と死のジレンマ

G16 今井彬暁

ベトナム南中部ラグライ人社会における国家の権威と精霊の力

G17 康陽球

信仰と「出世」願望—ベトナム南部地域における宗教組織の信者の事例から

G18 伊藤まり子

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

【個人発表】 15時45分—17時20分

悪魔崇拝者とは誰か—ケニア、ドゥルマ社会における妖術言説・憑依靈言説の新展開

G19 岡本圭史

イスラーム・女性の朗唱の実践と解釈をめぐる—考察—セネガル・ニアセン教団を事例に

G20 星野佐和

痛みをめぐる感性の変化と宗教儀礼—テヘランにおけるシア派自傷儀礼の事例から

G21 谷憲一

英領インド期の民族誌における音楽芸能カーストの「結晶化」とその余波—北インドのムスリム楽師と女性芸能者を中心に

G22 田森雅一

会場 H (中講義棟文学部第二講義室)

第二日目 6月2日 (日)

【個人発表】 9時00分—11時55分

ペルー山村における農民の計算と配慮—チーズ技術供与の開発を事例として

H13 古川勇氣

複数からなる台湾漁民社会—在地漁民と越境する漁業出稼ぎ者による水際空間

H14 西村一之

ケア労働者を迎える家族—オーストリア農村の調査から

H15 森明子

紛争体験の語りにおける笑いについて—北アイルランド紛争における暴力と日常

H16 酒井朋子

共感と非共感に関わる試論—スペイン・カタルーニャ州における独立運動に関わる人間の塔のグループへの参与から

H17 岩瀬裕子

「ネットワーキングの論理」をめぐる社会運動の組織化とそのジレンマ—スペインの住宅ローン問題解決運動におけるソーシャルメディアの活用を事例に

H18 池田朋洋

フィクションとしての親族—ムンバイにおける「流動的な核家族ユニット」と世帯運営

H19 田口陽子

.....

【個人発表】 15時45分—17時20分

電気自動車が喚起する未来と過去、人と街の関係—「エコ・ジェントリフィケーション」の観点から

H20 難波美芸

誰が「動物園」の「動物」か?—フィリピン、M市のカラオケTVにおけるCCA—顧客関係の事例から

H21 田川夢乃

イズムなきアナキズム—ポスト遊動狩猟採集民ムラブリにみる“志向性なきアナキズム”

H22 二文字屋脩

韓国の軍隊による兵役経験者への影響—「男になる」という観点から

H23 山下慶

会場 I (中講義棟経済学部第三講義室)

第二日目 6月2日 (日)

【個人発表】 9時00分—11時55分

ダグラスからガイヤーへ—インドネシアのゴミ問題におけるテクノロジーの絶えざる増殖について

I13 吉田航太

気象災害に対する環礁社会のレジリエンス—2005年にサイクロンが襲来したクック諸島プロカプカの事例より

I14 深山直子

フィジー手話話者はいかに空間を共有するか—生きられた空間としての手話空間

I15 佐野文哉

「聴者も手話を話す村」における言語の境界と変容

I16 土田まどか

書き言葉を捨てる—中国壮族の新旧の書き言葉の過去と現在

I17 手塚恵子

清酒製造における文書化の役割についての一考察—「経過簿」に焦点をあてて

I18 岩谷洋史

歴史と観光をめぐるポリティクス—中国福建省のある村落を事例に

I19 兼城糸絵

【映像作品上映】 11時55分—13時00分

SAGAE—パプアニューギニアにおける贈与儀礼の記憶 (SAGAE – Memory of the Gift Rituals in Papua New Guinea –

門馬一平

【個人発表】 15時45分—16時55分

身体技法としてのボールルーム・ダンスの歩行と日常歩行—重心に着目して

I20 板垣明美

ダンス教育と現代若者—若者におけるヒップホップの社会的意味

I21 小野五弥子

老年者はなぜ、いかに人生を振り返るのか—沖縄都市部の自分史同好会参加者を事例として

I22 菅沼文乃